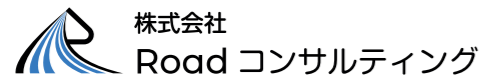


富士山の麓で みんなが幸せになる！

運営元



社是

富士山を敬い、人を愛し、道を求め続ける。

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると共に、自然と人間を尊重した地域共生社会の進歩発展に貢献すること。

会社概要

法人名	株式会社Roadコンサルティング	グループ事業	社労士オフィスロード
設立	2021年1月	電話番号	0545-88-2701
所在地	〒416-0907 静岡県富士市中島416番地の4	FAX番号	0545-88-9959
代表取締役	大道 和哉	URL	https://road-consulting.jp
免許番号	登録支援機関登録番号 23登-008666		
事業内容	人材育成事業 / キャリア支援事業 / 人事コンサルティング事業 / 外国人材向け生活支援事業		



富士山メソッドプロジェクト
FUJISAN METHOD PROJECT



日本で働く
外国人を
応援！



WebサイトやSNSで情報発信中！

Web



Web <https://fujisan-method.jp>

Facebook



Facebook <https://www.facebook.com/fujisanmethod>

Instagram



Instagram https://instagram.com/fuji_method_pj



富士山メソッド・プロジェクト (FMP) とは？

これからの日本は少子高齢化が進み、深刻な労働力不足に陥ることが懸念されています。

特に、若年層が首都圏に流出してしまう地方企業の人材不足は深刻であり、喫緊の課題となっています。その課題を解決する、現場業務の担い手として、若く向上心溢れる外国人労働者を受け入れる企業が増加しています。2019年4月には特定技能制度が導入されたこともあり、企業活動を支える外国人労働者の数は大幅に増えると予想されています。

そこで私たちは、富士市をはじめとする静岡県内の企業、地域、行政と連携し、外国人を家族のように迎え入れ、仕事はもちろんのことプライベートの充実までサポートを行う富士山メソッド・プロジェクト(以下「FMP」という)を展開してまいります。

「富士山の麓でみんなが幸せになる!」をスローガンとし、働く人・企業・地域が三方良しになれる仕組みづくりに本気で挑んでまいります。



FMPが目指す三方良し

活動スローガンである「富士山の麓でみんなが幸せになる」は、私たちが大切にしている三方良しの精神に根ざしています。この活動における三方とは、「働く外国人」「企業」「地域」です。私たちはこの三方の信頼関係を丁寧につくり、お互いが助け合い、物心両面において豊かになれるよう活動をしてまいります。



「働く外国人」にとっての良し!



生活の安定・地域の人との交流

毎日の仕事を頑張るためには、生活を安定させる必要があります。そこで、不慣れな日本での生活に早期に順応できるようサポートを行います。その後も週に1回の自宅訪問を通して、外国人の皆さんとの信頼関係を深め、健全な生活習慣を継続できるようフォローしていきます。「月に1回のお楽しみ」として、レクリエーションを実施しています。レクリエーションでは、地域の人と交流すること、日本や地域の魅力を体感してもらうことを大切にしています。



日本語能力の向上

日本での仕事や生活を充実したものにするためには、日本語能力の向上が欠かせません。外国人の皆さんが日本語能力を向上させて、日本人とのコミュニケーションが楽しくなることを目指して、隔週で日本語教室を実施しています。教室では、日本語を使ったコミュニケーションを楽しみながら、職場や生活で必要となる日本語を習得することを重視しています。また、多くの外国人の皆さんが受験する「日本語能力試験」の合格に向けた支援も行っています。

「企業」にとっての良し!



人手不足の解消

人口減少時代に入り、地域の企業にとって、人材の確保は重要な経営課題となっています。この課題はますます深刻化し、今後、人手不足解消に向けて外国人雇用を開始する企業は増えていくと予測されています。現在の日本人の採用市場は、「働く人が、企業を選ぶ時代」へとシフトしており、遠くない将来には、外国人市場においても同様の状況になると考えています。FMPでは、外国人雇用を転機と捉え、企業様と共に「働く人を大切にする企業づくり」を目指してまいります。



職場の活性化・労働生産性の向上

若くて活力のある外国人の皆さんが入社することで、職場は明るくなります。社員の皆さんは、外国人と意思疎通を図るために、わかりやすい言葉で、丁寧に話をするようになります。元気に挨拶を交わし、お互いの国のことについて会話をするなど、コミュニケーションが活性化します。家族や自分のキャリアのために一生懸命に働く外国人の姿勢から、一緒に働く日本人も前向きな刺激を受けることができます。お互いの違いを認め、協力して働いていくことはダイバーシティを実現し、生産性の向上につながります。

「地域」にとっての良し!



若い力による地域の活性化

若い世代の住民が減少し、活気が失われつつある地域が少なくありません。そのような中、新たに若い外国人が地域で暮らすことは、地域にとっては好機と捉えることができます。しかし、好機を生かすためには、地域と外国人とを結び信頼できるコーディネーターが必要です。私たちはそのコーディネーター役を果たし、地域活性化の一助になれたらと考えています。



地域共生社会の実現に向けた第一歩

国は地域共生社会の実現を目指しています。これは、「地域で暮らす一人ひとりが主体性を持ち、時代の変化に伴う様々な事象を受け入れながら、我が地域づくりに参画していくこと」だと捉えています。働く外国人が増えていく日本の変化を前向きに受け入れ、どのように共生し、理想の地域を創造していくかは非常にクリエイティブで重要なテーマではないでしょうか。企業、地域、行政等と連携し、少しでもお役に立てるよう邁進してまいります。



サービス① 生活サポート

良い仕事をするためには、生活環境の整備が欠かせません。生活が安定することで、心身共に健康な状態を維持することができます。そこで、FMPでは、外国人と家族のような関係を築き、慣れない日本での生活を継続的にサポートしています。

サポートの基本は、週に一度の自宅への訪問になります。自宅訪問における外国人の様子を生活記録簿にまとめ、月に1回、会社様との打合せの中で報告をしています。自宅に訪問するスタッフには、教員OBや国家資格キャリアコンサルタント資格者等、対人支援の経験が豊富なメンバーを揃えています。実習生と対話をしながら、生活や仕事で困っていることを確認し、その解決に向けたお手伝いをしています。



よく相談を受けること

病院や市役所に
一緒に行ってほしい



銀行で
口座開設をしたい



新しい携帯電話や
SIMカードを購入したい



自転車や電化製品
(エアコン、洗濯機、電子レンジ)
の故障を直したい



職場や共同生活
における悩み事等



サービス② 日本語教室

外国人の皆さんが、日本での暮らしを充実させるためのポイントは、日本語能力を向上させることです。日本で暮らす以上、職場でも日常生活においても、日本語を使ってコミュニケーションを図らなくてはなりません。

日本語能力が低く、向上する意欲がなければ、日本人とのコミュニケーションは、仕事における最低限の意思疎通程度になってしまいます。日本語能力を向上しようと努めることで、より相手(日本人)の気持ちを理解することができます。日本人と会話することが楽しくなると、関係性を深めることができます。私たちは、そのレベルで外国人と日本人が交流することができれば、お互いが文化や価値観の違いを認め、多くのことを学ぶことができると考えています。そのような考え方を大切に、FMPでは毎月2回、日本語教室を実施しています。



日本語教室は、平日の夜に90分程度の授業を行います。外国人の皆さんのニーズに合わせて、対面またはオンラインで実施をしています。授業の狙いは、職場や生活に必要な日常会話のレベルアップですが、日本語能力試験に向けた対策支援も行っています。

授業は講師が一方向的に教える形ではなく、グループで対話をしながら学ぶスタイルを採用しています。外国人の皆さんにとっては、日本語を学ぶことはもちろんですが、他社の外国人やFMPのスタッフと楽しく会話をしてリフレッシュができる機会にもなっているようです。



スタッフ紹介



大道和哉 (株式会社Roadコンサルティング代表取締役)
社会保険労務士、国家資格キャリアコンサルタント、外国人雇用管理主任者

当社ではFMPのスローガンである「富士山の麓でみんなが幸せになる」の実現を本気で目指します。外国人の皆さまが、安心して相談できる存在になれるよう、スタッフ一同最善の努力を尽くしています。また、当社は私が代表を務める社労士オフィスロード(社会保険労務士事務所)と提携しています。来日に伴い必要となる事務手続きに関しても、専門家がワンストップでスピーディーに対応させていただきます。

社労士オフィスロードスタッフ
手続きはお任せください



大道桂三 (株式会社Roadコンサルティング)
国家資格キャリアコンサルタント、外国人雇用管理主任者

生活サポートの担当者として、外国人の皆さんを家族のように受け入れ、温かく接することができるよう意識しています。特に日本に来た当初は、知らないことや分からないことばかりで、不安になりがちです。外国人の立場にたって心配な点を解決し、早期に日本での生活に馴染んでもらえるよう支援をしています。また、レクリエーションを通して、楽しい時間を共有することも大切にしています。



大竹 岳 (株式会社Roadコンサルティング)
元高校教諭、外国人雇用管理主任者

多くの外国人の皆さんが受験する「日本語能力試験」の合格をサポートすることにも取り組んでいますが、それ以上に、日本語を使ったコミュニケーションを楽しみながら、職場や生活で必要となる日本語力のレベルアップを目指した授業を展開しています。失敗を恐れず、日本語を聞く・話す練習を多く取り入れているところがFMP日本語教室の特徴です。



サービス③ レクリエーション

外国人の皆さんは、お休みの日をとても楽しみにしています。近くのお店に買い物に出かけたり、景色が綺麗な場所に行って写真を撮影したり、部屋で音楽を聴いたり、日本語の勉強をする等、思い思いの休日を過ごしています。しかし、外国人の皆さんのほとんどは、移動手段は自転車か徒歩であり、行動できる範囲には限りがあります。また、支援者がコーディネートを行うことで、外国人の皆さんに、日本の文化や習慣を体験して頂くことや、地域で暮らす日本人と交流を図る機会を提供することができます。

そのような機会を提供できるよう、FMPでは、定期的にレクリエーションを開催しています。



FMPでは、外国人と地域の皆さまが交流し、楽しむことができるオリジナルのレクリエーションを企画しています。スタッフ全員が「一緒に大切な思い出をつくらう!」という気持ちで、レクリエーションの運営に努めています。

これまでに実施したレクリエーション

- クリスマス飾りづくり
- 餅つき体験
- 富士山女子駅伝にボランティア参加
- 富士山本宮浅間大社に初詣
- グランドゴルフ大会
- 書道体験
- 年に1度の遠足(行き先は投票で決定/2023年は鎌倉)等



スタッフ紹介



米山 満 (株式会社Roadコンサルティング 相談役)
元中学校教諭、生涯学習インストラクター

FMPの「富士山の麓でみんなが幸せになる!」という言葉にとっても刺激を受けました。学校現場という狭い視野の中でしか過ごしてこなかった自分にとって、とても新鮮で魅力的なプロジェクトです。外国人の皆さんを温かく迎え入れ、日本の良さや伝統を互いに学び、「富士市に来て良かったな」と思ってもらえるようチャレンジしてまいります。

FMP広報担当
私たちが情報発信しています



スさん



テツさん



実習生インタビュー



メイさん



カインさん

Q. FMPの生活サポートについて . 感じていることを教えてください。

日本に来た時から分からないことは何でも教えてくれました。毎週1回、寮に来てくれて声をかけてくれるので、安心して仕事をすることができます。(ス)

自転車で転んで怪我をしたことがありましたが、すぐに駆けつけてくれました。私たちはコミュニケーションや移動手動等の事情から、自分達だけで通院するのは難しいです。FMPメンバーは病院に同行してくれるので、とても心強く感じています。(テツ)

先日、有給休暇を取得して、ゆうちょ銀行で口座の開設をしました。その時も、事前にゆうちょ銀行と調整してくれたので、スムーズに手続きを終えることができました。(メイ)

毎週の巡回の際は、FMPメンバーと会話できることが楽しみです。仕事で本当に疲れている時だけは、来なくても良いと思う時もありますが…(笑)。(カイン)



Q. 月に1回のレクリエーションは . 楽しんでいますか?

私は、ミャンマーにはない日本の文化を体感できるレクリエーションが大好きです。日本の伝統行事である餅つき体験は特に印象に残っています。お餅はとても美味しかったです。(カイン)

私は富士宮浅間神社に行けたことが嬉しかったです。これからも日本の有名な場所に行ってみたいです。一番行きたい場所は東京ディズニーランドです。(テツ)

私は花が好きなので岩本山のピクニックが印象に残っています。来月は年に一度の遠足で鎌倉に行ってきます。ミャンマーのバギーという場所には、日本の方が寄進してくれた鎌倉大仏があります。ミャンマー人にとって鎌倉は特別な場所なので、本当に楽しみにしています。(ス)

私はグランドゴルフが楽しかったです。他の会社のミャンマー人やFMPメンバーと合同でチームをつくり、協力することができました。今度はバドミントン大会をやりたいです。その時はミャンマーの大きいシャトルを使わせてください。あと富士山にも登りたいです!(メイ)

Q. FMPメンバーは . 皆さんにとってどんな存在ですか?

私たちの家族です。そして、会社と一緒に働く皆さんも家族です。親切な人ばかりです。来日前より日本人の印象がさらに良くなりました。(メイ)

私もメイさんと同じです。困ったことは何でも相談することができます。(ス)

FMPメンバーは「おもてなし」ができる優しい人達です。月に2回の勉強会を通して、日本語も教えてくれるので、本当に頼りにしています。(テツ)

当社の社長がFMPに参加してくれたおかげで、素晴らしい人達に囲まれて過ごすことができます。心から感謝しています。(カイン)



法人名	株式会社ミズ・バラエティー
事業	化粧品・医薬部外品等の受託製造、健康食品の受託製造、物流サービス業務全般
法人理念	「一人一人が幸せになること」
従業員数	286名（パート含む）



1976年7月に設立された会社です。富士市今泉に本社を構え、現在は富士市今泉にある「第一ロジスティクス」「クリーンルーム第1工場」「クリーンルーム棟」「第二倉庫」「第三倉庫」「第五倉庫」の他、東京都に「東京支店」、京都府に「関西支店」を設置し、事業を展開しています。ミズ・バラエティーは「情報」「人の手」「モノ」そして「高い品質とサービスレベル」で、「発想から発送まで」のあらゆる業務のサポートを行っています。事業を行う上で大切にしていることは、「小さなこと、ひとつひとつに気を遣える」こと。この想いを大前提にサービスを提供しています。

代表インタビュー

外国人雇用をきっかけに、社内の文化、雰囲気を良くしたい。FMPと出会ったことで、理想を実現できると感じました。

株式会社ミズ・バラエティー 代表取締役 栗田 佳幸さん

外国人雇用を開始した経緯を教えてください。

外国人の受入れは5年以上前から検討していました。その理由は2つあります。1つはやはり日本の人口減少により、現場の労働力が不足していたためです。

もう1つは、外国人を迎えることによって会社のモラルを向上させるためです。日本人同士であると、どうしても照れが生じてしまい、他人に対して優しく親切に振舞うことが難しいものです。会社として目一杯外国人をサポートする姿勢を見せることで、社員の皆さんも照れることなく、他人に対して優しく親切にできるようになってくれると考えました。



外国人雇用を始めるにあたり、工夫したことはありますか？

外国人を迎え入れるにあたっては、日本人社員の人間性の教育を重要視しました。外国人に「日本に来て良かった」と思ってもらえるような環境にするためには、社員の人間性が何より大切です。人間力向上のための社員研修に力を注ぎ、何年もかけて受入れの準備をしてきました。

外国人雇用は増えていくことが予想されます。目指すべき理想の地域の姿をどのように描いていますか？

人口減少が進み、富士市から若い人材が減っています。このような状況において、外国人をはじめとする多様な個性を持つ方々を、どのように地域に迎え入れるかが大切になってくると考えています。外国人が日本の地で日本語能力や仕事の技術をしっかりと身に付け、日本や母国において第一線で活躍できる人材へと成長する。外国人の一生懸命に働く姿や思想・文化に触れることで、近年の日本が忘れてしまっている大切なことを、日本人や地域全体が思い出す。お互いがこのような関係になることが理想です。私が目指している姿です。

私自身は以前から会社や地域の発展のために外国人を受入れる必要性を感じていましたが、実際に受入れることは簡単ではありません。FMPと出会ったことで、理想が実現できるのではないかと考えるようになりました。FMPをこの富士の地から展開していき、外国人雇用に関する考え方の基準や、今後の企業の在り方を示すものになることを期待しています。私達も理想を目指す一つの企業として、これからも精進していきます。



上司インタビュー

実習生の皆さんに、日本に来てよかったと思ってもらえるよう取り組んだ結果、会社全体が優しい雰囲気になったと感じています。

株式会社ミズ・バラエティー 生産事業部長 井上嗣朗さん

外国人技能実習生を迎え入れる上で、不安に感じていたことはありますか？

まずはコミュニケーションの面が一番不安でした。実習生の皆さんに対して、こちらが正しい情報を伝えてあげられるのかとても心配していました。また、日本に来てよかったと思ってもらえるかということも、不安に感じていました。せっかく日本に来てくれたからには充実した生活を送ってほしいという気持ちはありましたが、それを実現できるのが不安でした。



実際に一緒に働いてみてどう感じていますか？

皆さんとても優秀で、今では会社にとって大きな戦力となっています。若さと意欲がありますから、仕事を覚えるのがとても早いです。コミュニケーションの面でも大きな問題を感じることはありません。会社の従業員の皆さんも、慣れない土地で頑張っている実習生を色々な面でサポートしてくれています。実習生の皆さんが加わったことによって、会社全体が優しい雰囲気になったと感じています。

一緒に働く上で工夫していることはありますか？

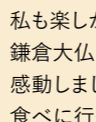
皆さんに気持ち良く働いてもらえるような工夫をしています。実習生の皆さんが技能検定を無事合格できるようにテキストを作成したり、いつ、どこで仕事をするのかを間違えることが無いよう、毎月渡すシフト表に業務内容も記載するようにしています。また、日本語を使う環境に慣れ、日本での生活を充実したものにしてもらうために、日本語能力試験の受験料を支援したり、日本語勉強会を毎月実施したりもしています。

実習生インタビュー

日本に来てから楽しかったこと、嬉しかったことはありますか？



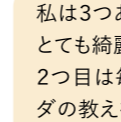
沢山楽しかったことがあります。中でも、鎌倉遠足がとても楽しかったです。ずっと行ってみたいだった鎌倉にFMPの皆さんと一緒に行くことができ、とても幸せでした。あとは仕事以外の時間に会社の皆さんと話をする時間も、私はとても好きです。皆さんとても優しく接してくれます。



私も楽しかったことは沢山ありますが、やっぱり鎌倉が一番楽しかったです。鎌倉大仏はミャンマー人にとって特別な場所ですから、実際に見ることができて感動しました。また鎌倉に行きたいです。あとは社長と一緒にミャンマー料理を食べに行ったことも楽しかったです。ミャンマー料理の「レパッ」を社長がおいしいと言ってくれて、すごく嬉しかったです。



社長が毎月私達をお出掛けに連れて行ってくださるのは嬉しいです。中でも、ららぽーとに連れて行ってくださったことが一番思い出に残っています。ららぽーとでは買い物をしたり、フードコートで辛いラーメンを食べたりしました。お出掛けのたびに社長の笑顔がかわいくて、その笑顔を見ていると私も幸せな気持ちになります。

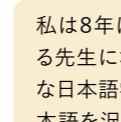


私は3つあります。まず1つ目はレクリエーションです。広見公園の桜と田貫湖がとても綺麗で、印象に残っています。2つ目は毎月会社で行っている日本語勉強会です。私達が大切にしているブツダの教えを日本語で学べることは幸せです。3つ目は日本で働いていただいた給与で、ミャンマーにいるおばあちゃんに薬を買ってあげられたことです。薬を買ってあげることができて安心しましたし、助けになれたことが嬉しいです。

これからの目標はありますか？



私の趣味は料理をすることです。将来はミャンマーに帰って、ミャンマー料理のお店を開きたいです。おいしいミャンマー料理を作って、沢山のミャンマー人と、ミャンマーに来た日本人を幸せにしたいです。そのために日本で8年間くらいしっかりと働いて、日本語が上手になりたいと考えています。まだまだわからないことばかりですが、頑張ります！



私は8年ほど日本で仕事をしたらミャンマーに帰り、ミャンマーで日本語を教える先生になりたいと考えています。ミャンマーのヤンゴンに寮と校庭がある大きな日本語学校を建てて、学生に日本語を教えることが私の夢です。今のうちに日本語を沢山学び、これから日本で働いたり、留学することを夢見ている人達の役に立てる人間になりたいです。



日本に来る前までは、技能実習が終わったらミャンマーに帰り、ファッションデザイナーになりたいと考えていました。でも今は日本での生活がとても充実しているので、このまま日本でずっと生活してしまいたいとも考えるようになりました。東京で仕事をしたり、日本の色々な場所に遊びに行ったりすることにとても興味があります。

まずは3年間の実習が終わったら、少しでもミャンマーに帰り、姉に果物ジュースを売るための大きなお店を建ててあげたいです。今は小さなお店なので、大きなお店に建て替えてあげます。その後はすぐに日本に戻ってきて、ずっと日本で働き続けられたら良いなと思っています。日本で結婚もしたいです！



ニンさん
2022年11月入社



カインさん
2022年11月入社



サンディさん
2022年11月入社



ウインさん
2022年11月入社



法人名	社会福祉法人鑑石園
事業	特別養護老人ホーム・デイサービス運営 等
法人理念	「地域に拓かれた、地域に愛される、地域に信頼される」
従業員数	213名



1982年に富士市原田地区に設立された社会福祉法人です。1983年には、富士市内で2番目の施設となる特別養護老人ホーム鑑石園を開設しました。長年にわたり地域福祉に貢献し蓄積した信頼と実績を生かし、2005年には伊東市宇佐美に「特別養護老人ホームうさみの園」を、2012年には富士市間門に「特別養護老人ホーム富士まかど」を開設しました。地域福祉の拠点として、一人ひとりが家庭や地域の中で心豊かに暮らすことができるような環境づくりとともに、施設内においては、入居者様、利用者様それぞれの人格を尊重し、安全で安心してご利用頂けるサービスの提供に努めています。

代表インタビュー

初めての外国人受け入れは、FMPのサポートのおかげで順調にスタートできました。外国人への生活支援もあるため、安心して雇用できます。

鑑石園 常務理事 加納孝則さん

外国人雇用を開始した経緯を教えてください。

人口減少社会の中で、働く担い手は減少傾向にあります。そのような背景があるため、日本で働く外国人の人数は増えており、報道等を見る中で、良い面がある一方で課題があることも理解していました。私は何とかその課題をクリアして、



これからの日本の地域は多文化共生社会を目指していかなければならない。それは、単に担い手不足解消のためだけでなく、人と人との繋がりを大切にするという面においても重要であると考えていました。しかし、実際に外国人を雇用するにあたっては、コミュニケーションの問題や仕事以外の部分のサポート体制等、不安に感じていた点が多くありました。そのような時にこのプロジェクトに出会い、スローガンである「富士山の麓、みんなが幸せになる」にはとても共感しました。このプロジェクトのサポートがあるお陰で、外国人技能実習生の雇用開始に自信を持つことができました。実際に、初めての外国人の受け入れということもあり、法人としても丁寧に準備を行いました。プロジェクトからのサポートを頂き、順調に雇用をスタートすることができたと感じています。

外国人雇用は増えていくことが予想されます。目指すべき理想の地域の姿をどのように描いていますか？

地域では人口減少が進む中、高齢化により住民の介護ニーズが高まっています。今後、介護の担い手を確保するために、間違いなく外国人雇用は増えていくと思います。地域で働く外国人が増える中で、2つのことが大切になると考えています。1つは、外国人から選ばれる会社・地域を目指すことです。私は、外国人のネットワークは、大きな可能性を秘めていると感じています。富士市が外国人を大切に迎え入れる地域になれば、そのことが発信されて、自然と外国人が集まってくるとは思いませんか。多文化共生社会を目指した地域ブランディングを推進することにより、外国人の転入が増え、各産業を活性化させる源になると考えています。もう1つは、外国人雇用が進んでいく中で、FMPのような支援活動を広めていくことです。私も法人の力だけで、外国人雇用を行うのは困難です。恐らく、私もと同じように考えている会社は多いと思います。支援機関に仕事の面だけでなく、生活面までをサポートしてもらえたら、会社は安心することができます。FMPのように地域に根差した支援機関が、各地域に広がっていくことが理想的だと思います。これからは、多文化共生社会の実現に向けて、企業、地域、行政等が協力をして、外国人雇用の拡大に伴う環境づくりが求められます。微力ながら、私もできる範囲で協力をしていけたらと思います。

上司インタビュー

言葉の壁に不安がありました。丁寧に伝える工夫をすることで、仕事内容しっかり理解し、主体的に動いてくれるようになりました。

鑑石園 介護課長 稲葉 辰美さん 介護職員 斎藤 陽子さん

外国人技能実習生を迎え入れる上で、不安に感じていたことはありますか？

斎藤さん

コミュニケーションです。日本人ならばある程度の言葉で伝えれば察して動いてくれますが、それがどこまで通じるのかということに不安に感じていました。



稲葉さん

私も同じです。例えば、実習生が「はい、分かりました」と返事をしてくれたとしても、本当に理解してくれているのか。そのあたりがコミュニケーションの中で判断できるものなのかという点が気がかりでした。

実際に一緒に働いてみてどう感じていますか？

稲葉さん

最初は指示されたことを実行することで精一杯でした。しかし、一通りの業務を覚えてからは、仲間の動きを観察しながら、自分で仕事を見つけて主体的に動けるようになりました。心配りがよくできています。ミャンマー人は日本人と似ている部分があるのではという印象を抱いています。

斎藤さん

若くて元気な二人です。なので職場が活性化したように思います。入居者様も実習生に対し、「どこの国から来たの?」「ミャンマーはどんな国なの?」と話しかけることも多く、施設全体が明るくなったように感じています。

一緒に働く上で工夫していることはありますか？

斎藤さん

実習生が「分かっています」と返事をしたとしても、日々の仕事の中で、理解が不十分だと判断した時には、何度も説明を行いました。それにより、実習生もしっかりと理解をしなければという意識が高まったように感じています。

稲葉さん

まず、文字で伝えるときは平仮名を使用しています。また、介護の現場では専門用語が多いため、日常的に使う単語に置き換えて、会話をするように努めています。

実習生インタビュー

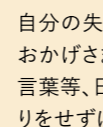


スさん 2022年8月入社
カインさん 2022年8月入社

日本で働く前に心配していたことはありますか？



コミュニケーションです。自分が思っていることを相手に伝えられるか、相手が話をしていることをしっかりと理解できるか、意思疎通を図ることができるかが不安でした。しかし、実際に働いてみたら、先輩達が丁寧に説明してくれたので安心しました。最近はずいぶん仕事にも慣れましたので、分からないことを積極的に聞けるようになりました。



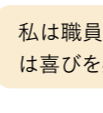
自分の失敗で、入居者さんに怪我をさせたりしないかが心配でしたが、現場で不安な時には先輩やスさんが手伝ってくれます。おかげさまで、これまでに事故等はなく、いつも安心して仕事をすることができています。また、介護の現場では身体の部位を指す言葉等、日常的には使わない日本語をたくさん使います。勉強していない日本語は全く分かりませんので、その時には分かったふりをせずに質問するように意識しています。



仕事をしていて「やりがい」を感じることはありますか？



私は食事介助の時に、入居者さんが食事を残さずに食べてくれた時が一番嬉しいです。全部食べてくれると安心することができます。食事を残した時には、調子が悪いのか、もし夜にお腹が空いてしまったらどうしようと考えて心配になります。決して、入居者さんが「美味しかった」、「ありがとう」という言葉をかけてくれるわけではありません。でも、私は入居者さんが食事を全部食べてくれると、とても嬉しい気持ちになります。



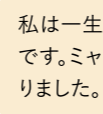
私は職員の皆さんと一緒に仕事をしている時が楽しいです。私より大きい身体の方を、みんなで協力して安全に移動できた時などは喜びを感じます。仕事で大変な日もあります。でも、大変な日ほど、仕事が終わった後には充実感を得ることができます。



日本に来てからプライベートで楽しかったこと等はありますか？



私はお休みの日に出かけることが大好きです。FMPではレクリエーションをやってくれるので、毎月とても楽しみにしています。これまでのレクリエーションの中で一番楽しかったのは餅つきです。日本の伝統行事を体験できたと、お餅もすごく美味しかったです。



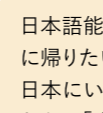
私は一生懸命勉強して、日本語能力試験N3に合格できたことが一番嬉しかったです。あと、日本に来て一番驚いたのは花火の音です。ミャンマーでは、花火を上げる機会はほとんどありません。そのため、戦争の音だと勘違いをし、スさんと飛び起きたことがありました。



これからの目標はありますか？



介護福祉士の資格を取得し、長く日本で働きたいです。その後のキャリアは介護福祉士を取得した後に考えたいと思っています。あと、FMPを通して、これから富士市で働くミャンマー人が増えてくれたら嬉しいです。



日本語能力試験N2に合格することです。あと介護福祉士の資格も取得したいです。そして、10年間、日本で仕事をしたらミャンマーに帰りたいと思っています。ミャンマーでは、日本語を生かして、日本語の先生か通訳の仕事をするつもりです。日本にいる内にやってみたいことは、ミャンマーの文化を伝えることです。ミャンマーの1年は毎年4月に始まります。その直前に行われる「水かけ祭り」は、水をかけることで1年の不幸やけがれを洗い流し、新年を迎えるという最も大切なイベントです。機会があれば、お祭りのことを伝えたり、ミャンマーの服を着て、音楽を流して、ダンスを披露したりしてみたいです。

